

8) 寄付関係

8) - 1 巨大地震に対する中低層鉄骨造建築物の終局状態の評価法と損傷検知手法に関する研究 【安全・安心】 研究開発期間（平成 28～30 年度）

[担当者] 長谷川隆

本研究開発課題では、今後発生が懸念される巨大地震に対する中低層の鉄骨造建築物の梁端部の破断等と建築物の崩壊までの終局状態の評価方法を構築するために、実験的及び解析的な検討を行う。また、地震後に内外装材に覆われている建物の梁端部等に破断が生じているかどうかを推定するために、地震計等の観測記録を用いて鋼構造建築物の梁破断等を検知するための手法についても検討を行う。

本年度は、角形鋼管柱に H 形鋼梁が接続された梁端部試験体の多数回繰り返し載荷実験、地震動特性の影響に関する 2 スパン鉄骨造骨組試験体の振動台実験、梁破断の影響に関する 3 層設計建物の地震応答解析、地震後の鋼構造建築物の梁端部損傷検知のための 2 スパン鉄骨造骨組試験体の振動台実験による検討、等を行った。